

みんなで創った☆

# さばえ夏まつり



## ～地元パワーをギュギュッと濃縮!!～

8月16日(土)、17日(日)、18日(月)の3日間、鯖江市街のあちこちで「さばえ夏まつり」の行事が行われました。

その実行委員でもあり、市民協働推進会議の一員でもある齋藤留美さんにお話をうかがいました。

◆「市民ホールつつじ」でのジャズ・ライブ

●このイベントは、いろんな地域や団体さんの行事を合体させる形で催されたと聞きましたが、どういう経緯で立ち上がってきましたか？

合体というより、皆さんのパワーを、ギュッと集めた！…って感じですね。

ご本山(誠照寺)と本町3丁目の「お寄り」(8/18のご縁日)を核にして、鯖江地区商店街連合会の「縁日広場」と「bingo大会」、行政の「まちなか歴史浪漫Jazzフェスティバル」、キャンドルナイトinさばえ実行委員会の「キャンドルナイトinさばえ」…それに公園口商店会と地蔵橋保存会の「地蔵橋まつり」、中央商店会の「おもてなし」と…少しずつ場所も時間も違うイベントですが、それが地域を大切にした姿だと思うんです。

最初は、それぞれの皆さんのが自分たちの企画を持っていて、それがちょうど同じような時期なのを耳にしたので…「だったら、みんなで調整して、ひとつの『おまつり』にしてみたら？」…というのが始まりでした。

### ●このような形で開催するメリットは何でしょう？

最近、地域のイベントでも、マンパワー・PRなどの点で弱い部分もありますよね。でも、こんな形で沢山の方が関わって下さることで、 $1+1=2$ ではなく、何倍ものパワーになるんです。…実際、別の視点で活動されている皆さんからのご提案には「目からウロコ」みたいな素晴らしいものもありますからね。

それに何より、違うフィールドの人間が同じイベントを創り上げることで“一体感”が生まれて、地域もみんなも“元気”になれる。それが一番のメリットです。

これからも、同じような形でイベントを開催することもあると思います。その時には、皆さんにも、まず“参加”して楽しんで頂いて、この“一体感”を感じて頂けると嬉しいですね。



◇キャンドルナイトに向け  
ペットボトルの器を準備中



◆キャンドルと夜店に彩られた古町通り



さばえ夏まつりでは「地域通貨」や「マイ食器」も絡めて、様々な側面からもイベントを盛り上げていました。  
賑わう夜の通りのゆったりとした雰囲気には、地域活性のヒントがあるかもしれません。

皆さんも、町内や学校や、色々な立場の人たちで集まって、新しい切り口のイベントを企画してみませんか？

## 市民活動・広報セミナー開催!!

マスコミを活用した効果的な情報発信方法を学ぼうと、さばえNPOサポートの広報の主催で、7月29日、市民活動交流センターにてセミナーが開催されました。

市民活動団体、NPO関係者を対象に、「ザ・広報 メディア活用術」と題し、中日新聞福井支社報道部次長の吉川博和さんを講師に迎え、現場記者から見たニュース価値の判断基準や、プレスリリースの効果的な発信方法などをレクチャーしてもらいました。

「小浜市とオバマ大統領候補」の事例などに絡めて、市民の活動をマスコミに取り上げてもらうためには、その話題の「新鮮さ」「話題性」「時流とのかみ合い」そして、その活動の「こころざし」の全てに気を配る必要があるとの内容でした。

今後も、(特)さばえNPOサポートでは、同じようなセミナーを企画・開催していくければと思っています。興味のある方は、ぜひ、お気軽にご参加下さい。

